

やなかわ

YANAGAWA 2012.

no.166

2月15日

祝

生

白

誕

秋

祭

今号の内容	ページ
◆救急車の適正利用にご協力を	2~3
◆中学生キャリアアウイークが大臣表彰ほか	4
◆市民協働のまちづくり事業公開報告会ほか	5
◆市民のひろば(6-7) ◆俳句(7) ◆情報わいど(8-10) ◆がんばったね(10) ◆もちふみデビュー(11) ◆人権・同和教育シリーズ(12)	



白秋の生誕 127年を祝う

市出身の詩聖、北原白秋の誕生日を祝う「白秋生誕祭」が1月25日、白秋詩碑苑で行われました。式典前のパレードでは、白秋の写真と酒たるを載せた大八車を矢留小学校6年生がひき、その後ろで、同校5年生のマーチングバンドが白秋作詞の同校の校歌や「待ちぼうけ」を演奏。白秋生家前から同苑まで行進しました。小雪がちらつく中で行われた式典では、献花や献酒の後、児童代表による献詩が行われ、最後は出席者全員で「帰去来」を合唱して故郷の偉人の生誕127年を祝いました。

人権作文

ともだち、いいな



森田 陽弓 さん

わたしは、ともだちがいてよかったなとおもったことがよくあります。

わたしは、きのう、がくどつでこっせつしました。

きょうのきゅうじょくするとき、じぶんでつくえを下げようとしたら、さなとさんが、「ほくが下げるよ。休んでいいよ。」といて、下げられました。ひる休みに、そのあそびなく、きょうじょくするとき、人ほうちとおもっていたら、い

市内の小中学生が書いた人権作文を紹介します。今回は、六合小学校1年生の2人です。

ぶきさんとりりなさんが、いっしょにいてくれました。うれしかったです。

さんすうのじかん、ノートをあつめるときに、さなとさんがまた、「ほくがあつめるから休んでいいよ。」といて、あつめてくれました。こんなふうには、ともだちがやさしくしてくれるので、うれしかったです。



こんなことはいいやです



柵町 琉月 さん

ごうとくのじかんに、かがやきの本で「こんなことはいいやです」を学しゅうしました。

このおはなしに出てくる女の子は、ブランコであそびたいのにあそべません。一かいもブランコであそんでいないのに、だれもかわってくれません。いつもなかまはずれにされています。女の子は、もう学校であそびたくないとおもっているとおもいます。わたしにも、こんなことがあ

りました。

ともだちといっしょにあそんでいました。でも、つかれたので、わたしがきゅうけいして、パツとそのともだちを見たら、もう6年生とあそんでいました。そして、その日から二日かんそのともだちは、6年生とずつとあそんでいました。さみしいなとおもいました。

でも、いまは、ともだちといっしょにあそんでいるのでたのしいです。

【評】こっせつしてじぶんでうごけないときに、ともだちが手だすけしたり、いっしょにいってくれたりしたことで、本とうにともだちのいるよさをかんじることができましたね。ごうとくの学しゅうをとおして、なかまはずれにされること、がどんなにかなしいかということがよくわかりましたね。